



# 秋の大垣 紅葉めぐり



◁色とりどりに輝く木々がまぶしい多良峡  
(上石津町下多良にて)

## 秋を探しに出かけませんか

秋深まり、木々が色づく11月。自然豊かな大垣には、市内各所に紅葉スポットがあります。

県下の紅葉名所「飛騨美濃紅葉三十三選」には、市内から「多良峡」と「円興寺」が選ばれています。「多良峡」は、牧田川のせせらぎと山全体の紅葉を通じて大自然の美しさを楽しむことができ、吊り橋から眺める渓谷美は絶景です。奈良時代末期から続く名刹「円興寺」は、色づく木々に囲まれ、歴史ロマンを一層感じさせます。

このほか市内には、墨俣一夜城址公園、船町港跡、水門川遊歩道「四季の路」、ソフトピアジャパン周辺のメタセコイヤの並木などの紅葉スポットがあります。また、近所の公園や神社でも、秋の景色を楽しむことができます。

天気の良い日にお出かけになって、「大垣の秋」を探してみてはいかがでしょうか。



◁いにしえの情緒漂う円興寺(青墨町にて)

## 秋の叙勲・褒章

政府から、秋の叙勲・褒章が発表されました。大垣市関係では、次の皆さんが荣誉に輝きました。

### ◀瑞宝小綬章▶

◇澤辺明氏 元大垣郵便局長/郵政事業功労

◇下野宗也氏 元公立高等学校長/教育功労

### ◀旭日双光章▶

◇田口光雄氏 元大垣市議会議員/地方自治功労

◇藤井新氏 元(社)岐阜県薬剤師会副会長/薬事功労

### ◀瑞宝双光章▶

◇北村喜美子氏 現調停委員/調停委員功労

◇富田学氏 元公立小学校長/教育功労

### ◀瑞宝单光章▶

◇伊藤新氏 元日本国有鉄道職員/鉄道業務功労

### ◀藍綬褒章▶

◇大橋勝廣氏 現調停委員/調停委員功績

## 第29回

# 全日本実業団対抗女子駅伝競走大会~ぎふ女子駅伝~

12/13(日)

女子陸上界のトップランナーが初冬的美濃路を駆け抜ける「ぎふ女子駅伝」——。今年は、12月13日(日)の正午に、長良川競技場をスタートします。

42.195kmを6区間に分け競い合うレースは、岐阜から国道21号を西に走り、大垣市に入ります。林町7丁目の第3中継所、総合体育館の第4中継所を経て、再び国道21号に戻り、ゴールの長良川競技場を目指します。先頭選手が市内に入るのは、午後0時50分ごろの予定です。

熱い戦いを繰り広げる強豪27チームの選手たち

ちに、沿道から温かいご声援をお願いします。参加チーム名などは、本紙12月1日号で紹介いたします。詳しくは、社会教育スポーツ課(内線757)でお尋ねください。



第4中継所の総合体育館(昨年の様子)



◁一夜城の白壁と紅葉の鮮やかなコントラスト(墨俣町墨俣にて)

大垣は水の都であり、市内各所に自噴する井戸がある湧水のまちです。こうした湧水自慢のまちが、県内外から集まって、水に関する取り組みなどを話し合う「湧くわく水サミット」。6回目となる今年は海津市で行われ、私もパネリストとして参加しました。



大垣には、昨年環境省から「平成の名水百選」に指定された加賀野八幡神社井戸があります。また、西之川町のハリヨの池広場、曾根町の曾根城公園などでは、清らかな水にしか生息しない「ハリヨ(ハリヨコ)」の姿を見ることもできます。

昨年の市制90周年記念式典で「市の魚」に制定したハリヨは、現在は西南濃地方と滋賀県北東部のみしか生息していません。大垣では多くの市民の皆さんが、このハリヨを守ろうと、水環境について考え、行動し、保護に努めています。私は、こうした取り組みを紹介しました。

サミットでは、海津市でも大垣市と同様に、山間から流れる津谷川のハリヨの保護に力を注いでいると聞きました。三重県いなべ市では、水環境の悪化により急速に減りつつある「ネコギギ(ナマズ)の仲間」で国の天然記念物(二)の保護・保全に努力しています。福井県大野市は、ハリヨと同属種のイトヨの保護のため、学習施設「本願清水イトヨの里」を整備しました。また、「平成の名水百選」の馬瀬川の水資源を活かした下呂市の取り組みなども紹介されました。

サミットに参加して感じたのは、いずれの市も水を宝と考える、大切に保全し活用しようとする姿でした。こうした思いを胸に大垣市は、大切な水資源を活かしたまちづくりを今後進めていきます。

## 湧くわく水サミット

大垣市長 小川 敏



市長の  
かがやきメール